

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2014年12月 6日(土) 9時00分～ 14時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員/ 3名、団体会員(ライオン(株)明石工場)/29名(午前)、事務局/1名 計 33名(午後4名)

● 午前

今日は、まだ12月上旬だというのに真冬並みの寒い一日でした。(明石の12時の気温:約7℃)
今日の午前中の活動には、エコウイングあかし団体会員のライオン(株)明石工場から29名の皆様が参加され、公園入り口横の竹林の間伐と下草刈りの作業に取り組んでいただきました。今回で4回目の活動になり、作業の要領を習得されている参加者も多く、手際よく作業を進めていただいたので、1時間余りで見違えるほどすっきりした竹林になりました。作業後には、整備された竹林をバックに全員で記念撮影をしました。

そのあと、参加者の皆様と公園内の散策路を一巡りして、金ヶ崎公園の里山整備の状況を視察していただきました。最後に公園の奥の見事に色づいたイロハカエデの木をたのしんでいただき、その前でも記念撮影をしました。

12時前に、事故やけがなどもなく無事に活動を終わっていただきました。

活動前の事務局の挨拶



作業前に注意点などの説明を聞く参加者の皆様



ライオン(株)の皆様の作業風景(その1)



ライオン(株)の皆様の作業風景(その2)



ライオン(株)の皆様の作業風景(その3)



作業後に竹林前で記念撮影



公園奥のイロハカエデの前での記念撮影



- 午後
午後は、エコウイング会員と事務局の4名のメンバーで、里山整備の道具類(ノコ、剪定鋏)の点検と手入れをしました。
いつもより1時間ほど早く、午後2時ごろに今日の活動を終わりました。
- 次回の活動は、来年1月10日(土)の朝10時から、午前中は市民自然図鑑の昆虫観察のまとめと今後の活動方針について打合せ、午後は新年最初の里山整備活動の予定です。
いつもの第1土曜日ではなく、第2土曜日の活動になりますが、たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園は、真冬並みの寒さになり、昆虫や草木の花はほとんど観察できませんでした。ただ、昆虫では、この寒さの中で小型の薄い褐色の「ガ」がたくさん飛び回っていました。「クロスジフユエダシャク」という「ガ」のようです。

植物では、春の花のホトケノザが早くも開花していました。薄紫のキクの花も咲いていました。イロハカエデは、まだ見ごろの木が残っていましたが、イチヨウはすっかり散り果て、黄色の「じゅうたん」になっていました。

クロスジフユエダシャク



ホトケノザの花



薄紫のキクの花



イロハカエデ(その1)



イロハカエデ(その2)



イチヨウの葉の黄色いじゅうたん



野鳥では、冬の小鳥の代表のジョウビタキが人なつこい姿を見せてくれました。そのほかに、メジロやハクセキレイ、コゲラなどの金ヶ崎公園の常連の小鳥も観察しました。メジロは、熟したカキの実を食べに来ていました。ふもとの北浦池では、10羽ほどのマガモも泳ぎまわっていました。

初冬の北浦池は、色づいたコナラやアベマキなどの落葉樹が冬の空をバックに水面に映って、昔ながらの「里山」の風景でした。

ジョウビタキ(オス)



熟したカキの実を食べに来たメジロ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ハクセキレイ(オス)



ハクセキレイ(メス)



コゲラ



ふもとの池のマガモたち



初冬の北浦池。昔ながらの「里山」の風景です。

